



わが学園の裏手には水田が広がっている。毎年春の耕作に始まり田植えを見、稲の成長を眺め台風の被害を気にしながら収穫までを見届ける。私自身は農業には全く縁も知識

もないが田園風景にはいつも癒やされている。今、米の価格高騰が大変な騒ぎになっているが、小泉進次郎農相のスピード感を持った動きは、素人の私にも多少の期待感を抱かせる。

義談「米」素人



草野 義輔

り1982（昭和57）年に至りようやく廃止。米穀通帳が形骸化してから廃止まで約20年かかったのは米が主食として長年特別扱いされてきたからだろう。

冒頭に書いた学園裏手の水田は約1畝の広さに10枚もの田があり、田植えも別々なので全てが完了するのに約3週間。素人目にも生産効率がかなり低いと想像する。一方大規模農業による米国産米の輸入価格は輸送費を加えても日本の米よりもまだ安い。日本国の根幹の一つ「米」を作る農家を国が支援するのは安全保障の観点から大切だと思う。しかし今回の米騒動を機に大きく一歩踏み出す農政が求められるのではないか。ノー政とやゆされないために。

（昭和学園高校理事長・日田市）

昭和30年代後半、私は東京に転校したが、母が持たせてくれたものの中に米穀通帳なるものがあつた。食糧不足の戦時中、米の配給制度により作成されたもので住民票代わりにもなったようだが、転校時にはほぼ形骸化してお